

# Château BADETTE

GRAND CRU CLASSÉ  
SAINT EMILION GRAND CRU



Famille Vandenbogaerde

## ヴィンヤード



### 土壌

石灰粘土質, 砂の多い粘土,  
砂・粘土



### 垣根栽培

機械式



性フェロモン作用の利  
用



### 平均密度

7,000 株 /ha



### 平均齢

25 年

## 特長

葡萄品種: メルロ 67%、カベルネ・フラン 28%、プティ・ヴェルド 5%。

私たちの実践: 除草剤不使用、合理的農業、緑肥と永続的な草の被覆、葉の間引き、グリーン・ハーヴェスト。

## 収穫



籠を使った手摘み

果実の選別: 糖度計, 手動

## 特長

500 リットルの樽と小さなステンレス・タンクで区画ごとに醸造。45 日間の 醗酵後、低温マセラシオン。

総生産量: 40,000 60,000 本。

### 栽培品種:

- Château Badette
- La Fleur de Badette
- Le Grand Monsieur Badette



## 物件のご紹介



### アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru



### エリア

10 ha



### 私たちの価値観

High Environmental Value (HVE)



## クルー

M. Arnaud Vandenbogaerde

所有者

M. Jean Philippe Fort

ワイン醸造技術者

M. Mathieu Richard

テクニカル・ディレクター

## アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru  
Grand Cru Classé de Saint-Émilion

## アサンブラージュ

Merlot : 75 %  
Cabernet franc : 20 %  
Petit Verdot : 5 %

## 当社の樽熟成

66 %新樽、34 %1年樽

収量: 45 hl/ha

生産量: 25 000 本

## 技術データ

アルコール含有量: 15.5 %  
ビーエッチ: 3.64  
全酸性: 4.1 g/L

## テイastingノート

香りはトースト感があり、バランスの取れた豊かさ、フレッシュさ、優れたアロマの明瞭さを感じられます。

ブラックチェリーのフレッシュな香り、スマイル、小さな赤い果実のニュアンスに加え、リコリス、スターアニス、やや酸味のあるブラックベリー、わずかにナツメグの香りが重なります。

口中はフレッシュでミネラル感があり、心地よい緊張感を伴います。ジューシーなブラックベリー、酸味のある小さな黒系果実、ラズベリー、ピガロー種のチェリー、リコリスに加え、微かなトースト香を感じられます。余韻は長く、エレガントで調和の取れたタンニンによって支えられています。

## 🌤️ 気象データ

2023年のボルドーは、変化の大きい気象条件に特徴づけられ、ブドウ畑では迅速な対応が求められました。控えめな芽吹きにより霜害は避けられましたが、非常に高いべと病の圧力は、テロワールや栽培管理の違いにより影響が異なりました。

開花は早く均一で、良好な条件下で進みました。果房の成熟は分散しましたが、夏は雷雨や猛暑の8月を経て、規則正しい成熟を促しつつ、ブドウのフレッシュさを保ちました。収穫は好条件の晩夏に行われました。メルローは魅力的で表現力豊か、カベルネは完熟で収穫され、構造感、フレッシュさ、深みをもたらします。

赤ワインは、バランスの取れた飲みやすいスタイルで、エレガントかつ個性的なプロフィールを持っています。



評価点： **96** **JEB DUNNUCK**

深い紫色をたたえる 2023年シャトー・バデットは、ブラックチェリーとカシスの華やかなアロマに、ローストハーブ、トリュフ、チョコレート、そしてほのかなスモーキーなタバコのニュアンスが重なります。75%メルロ、20%カベルネ・フラン、5%プティ・ヴェルドを使用し、66%が新樽、残りが1年使用樽で18か月熟成。口中では豊かでミディアムからフルボディ、見事な果実味と奥行き、甘やかなタンニン、美しいフィニッシュが特徴です。知識ある読者がぜひ手に取るべき、ヴィンテージの“トップ中のトップ”といえるサンテミリオンです。今飲んでも楽しめますが、3~4年の瓶熟を経ることでさらに良くなり、冷涼なセラーでは今後20年間優雅に熟成します。飲み頃：2029-2046年

**94** **Decanter**

肉厚で噛み応えのあるテクスチャーがあり、見事な熟度に加えてジューシーなニュアンスも感じられます。現在はタンニンが主張しており、力強くグリップがありますが、一方でどこか遊び心もあり、飲み頃が来たときには非常に魅力的なワインになるでしょう。フレンドリーで豊満、凝縮感がありながらも過度になりすぎない抑制も備えています。美しい仕上がり。

**94** **Yves Beck**

オークはワインに見事に溶け込んでいます。ブラックベリー、リコリス、そしてほのかな砂糖漬けフルーツの香りが主役を務め、樽の落ち着いた存在感がそれを支えています。アタックはクリーミーで、ワインはその魅力と調和で人を惹きつけます。広がりとしなやかさがあり、適度な酸がそれを支えています。この酸がパワーをやさしく和らげ、温かみのある性格を整えています。バランスが形成されつつあり、バデットにとって非常に明るい兆しです。将来が楽しみなワインです。

**93** **JAMES SUCKLING.COM**

カシス、チョコレート、ダークマッシュルーム、そして杉のニュアンスを伴うブラックベリー。かなりリッチでフルボディ、洗練され、豊富で一体感のあるタンニンが引き締まった口当たりをもたらします。ジャム的な甘さに傾くことなく、熟度の高さを見事に表現しており、より官能的なボルドーを求める方にぴったりです。今飲んでもよし、熟成させてもよし。

**92** **THE WINE CELLAR INSIDER**

花、チョコレート、チェリー、リコリス、エスプレッソの香りがまず広がり、その後、濃密でクリーミー、柔らかに磨き上げられた甘美な赤い果実の核へと導かれます。味わいも質感も素晴らしい仕上がり。飲み頃：2028-2039年。

